



2019年度1月号

尚徳福祉会 生麦保育園

新年あけましておめでとうございます。

あひる組の生活も残すところあと3ヶ月になりました。残りの日々も子どもたちが楽しく過ごせるようにしていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。進級に向けて、子どもたちが自分でできることは見守りながら応援し、さりげない援助をしていきたいと思っております。

### クリスマスツリー作り

緑の画用紙に白やピンク、黄色水色などの淡い色を使って自由に色を付けました。「〇〇がいい」と言いクレヨンの色を変える子やすっと同じ色を使って夢中になって描く子と様々な様子が見られました。その後は、子どもたちの大好きなシール貼り！紙コップにたくさんシールを貼りました。「みて」「もっと」と嬉しい気持ちを言葉にする子が多かったです。棚の上に置いてある完成したクリスマスツリーを見つけると「お～！」「〇〇ちゃんの」「〇〇くんの」と嬉しそうに言っていました。

### 雪だるま制作



雪だるまが貼ってある黒い画用紙に、白い絵の具を使って指スタンプをしました。好きなところにペタペタと指スタンプをし、たくさんの雪を降らせる子どもたちでした。カラフルなシールは雪だるまのボタンに見立てると、一列に貼る子やバラバラに貼る子、顔に貼り目のようにする子と自由に楽しむ姿が見られました。帽子の色は、子どもたちが自分で好きな色を選び、「これがいい」と手に取って見せてくれました。



### 自分でできるよ

自分で「やりたい！」「できるよ！」とたくさんのことを自分でやろうと頑張っている子どもたち。靴下を自分で履くことができると、手をパチパチさせ自分でできたことに喜びを感じています。靴を履くことや、帽子をかぶることも保育者と一緒に頑張っています。上着は自分の物がわかっている子が多く、カゴの中から見つけると保育者に「あったよ」と渡す姿が見られます。上着を着ると「かっこいい！」「かわいいよ」ととても嬉しそうです。

### 子どもたちの様子

友だちとの関わりが増え、子どもたち同士で遊ぶ姿が多く見られるようになってきました。砂場に行くと、子どもたちで簡単なごっこ遊びを楽しんでいます。木の家の中でアイス屋さんを開き「いらっしゃいませ～」「なにアイスがいい？」と話しをしている子どもたち。「イチゴアイスですよ」「チョコアイス！」と色々な味のアイスを作っています。玩具の貸し借りも少しずつ、できるようになってきました。「かして」と伝えたり「どうぞ」と言い渡してあげたり…気持ちを友だちに伝えていきます。時には、思うようにいかないこともありますが、その時は貸して欲しかった気持ちを受け止めながら「お友だち使っているね」「まっけてね」と保育者が伝えるようにしています。これからも、子どもたちの関わりを見守りながら声を掛けていきたいと思っています。